



つじ みつこ  
辻 美津子



しみん  
市民クラブ

### 久居アルスプラザの予約状況と自主事業は

**問** 久居地域の住民にとって待望の、久居アルスプラザの完成が秒読み段階である。

令和元年6月から施設予約が開始されたが、予約状況は、どうなっているか。

また、指定管理者による運営が予定されているが、指定管理者の自主事業は、どのような考え方で進められるのか。

### 予約は好調。娯楽性に富んだ事業も実施する

**答** 11月末現在で、ときの風ホールは、オープン後の半年間の利用率が約55%、土日や休日では約93%と、旧久居市民会館大ホールの約3倍の利用率となっており、アートスペースやギャラリーも含め、久居地域以外からの利用も見込まれている。

指定管理者による自主事業については、オープニングイベントでは、テレビにも出演され、多くの方が知っているアーティストのコンサートの開催に向けた調整を進めているほか、文化芸術に関しては、高尚なイメージを持ち、敷居が高いと感じる方もいらっしゃると思うので、お笑いなど娯楽性に富んだ公演なども開催していく。

### ●その他の質疑・質問●

- 職員政策について
  - 職務経験者の活用は
  - 地域枠職員制度は
- 「湯の瀬」の整備について
  - 事業者募集の状況は
  - 地元の活動とその支援は
- 高齢者の免許証返納について
  - 状況と市の取り組みは
  - 安全装置の助成は
- 久居誕生350年事業について
- AEDの活用について など



▲完成が待ち望まれる久居アルスプラザ



にし やま  
西山 みえ



けんとう  
県都クラブ

### 自主防災組織の課題解消と防災意識の向上は

**問** 阪神淡路大震災の発生から四半世紀がたとうとしている中、「自分の命は自分で守る」「自分たちの街は自分たちで守る」との理念を持つ自主防災組織は、高齢化や若者の不参加による担い手不足、訓練のマンネリ化が顕在している。

自主防災組織に係る補助金や共済制度の周知の現状と、今後における地域の防災意識向上に向けての方策は。

### 啓発を続けながらしっかりと取り組む

**答** 年に1回開催される、津市自主防災協議会の総会などにおいて、自主防災組織への補助金の内容や、防災訓練でけがをした際の補償等に係る共済制度の案内を行っている。

今後における地域の防災意識向上には、自主防災組織の高齢化や若者の不参加による担い手不足などの課題解消が必要であることから、まずは地道に啓発を続けていくほか、津市民防災大学の修了生や、みえ防災コーディネーター、防災士の資格取得者の方々の活動力やノウハウを活用させていただきながら、市職員も一緒になって、しっかりと取り組みを進めていきたい。

### ●その他の質疑・質問●

- 幼保無償化の実施に伴う現場の課題に向き合い、津市の未来を担う子どもたちが、すくすく育つ環境の整備が必要
- 男性に向けた風疹抗体検査と定期予防接種について、対象者の接種率が低迷する中、接種拡大に向けた積極的な広報が必要
- 教育委員会および教育職の姿勢としては、常識を持った対応が必要 など



▲男性への風疹抗体検査と定期予防接種拡大のPRポスター